



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノザワ

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4112

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,443	14.7	923	148.9	970	141.4	631	169.9
25年3月期第2四半期	8,234	7.5	370	91.6	401	192.6	234	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 937百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.07	—
25年3月期第2四半期	10.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	23,635	10,652	42.4	429.38
25年3月期	22,747	9,809	40.9	398.52

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,018百万円 25年3月期 9,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	4.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,800	8.7	1,690	65.3	1,680	66.3	1,040	83.1	44.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	24,150,000 株	25年3月期	24,150,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	818,057 株	25年3月期	814,735 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	23,334,020 株	25年3月期2Q	23,336,966 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策により円安・株高が進行、各種経済対策への期待感もあり緩やかに回復しつつあるものの、中国経済の減速・円安による輸入価格の上昇・原油価格の高騰等、企業収益への圧迫懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。建築材料業界におきましては、新設住宅着工戸数に改善の動きがみられ、設備投資に底入れの動きがあるものの、企業間競争の激化もあり、予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは多様化する壁面デザインに応えるべく、押出成形セメント板「アスロック」の新たなデザインとして、独自型付け製法による「グリッドデザイン」を開発。ランダムに配置したタイルをイメージした柄名「ランディル」を発売（2013年7月）。タイル張り外壁と比較し、コストダウン・現場工期短縮及びメンテナンスコストの低減を実現致しました。また、高層建築向けカーテンウォール「アルカス」にハイブリッド型変性無機塗料を工場塗装した「アルカスカラーセラン」を開発、発売（2013年7月）致しました。超耐候性・低汚染塗装を採用、壁面のメンテナンスフリーにより、トータルコスト削減が可能となりました。

また、施工現場での作業省力化が可能となる、工場仕上品の「カラー品」・「タイルパネル」・「デザインパネル」・「ナチュラル」のPRに注力してまいりました。これら高付加価値商品の優位性について評価を得たことにより、一般建築向け「アスロック」が増加するとともに、住宅向け「軽量外壁材」及び「高遮音床材」においても伸長致しました。マインケミカル事業では、地域別営業担当による新規顧客の開拓を全国的に進めました。

生産部門では、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動の実施により、生産性を高め、受注数量増加に対応するとともに、コスト削減へと繋げてまいりました。管理部門では、システム改善により、グループ全体の業務効率アップを図りました。海外事業では、「野澤貿易（上海）有限公司」において、北京・上海を中心に大手設計院へのPR活動を展開するとともに、現地代理店の構築を進めました。「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」においては、NNPS改善活動を実施し、品質及び生産性の向上に努めるとともに、受注数量に応じた運転体制を構築しました。

これらの結果、品種別売上高については、押出成形セメント製品関連では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は57億41百万円（前年同期比16.0%増加）、住宅用軽量外壁材は13億61百万円（前年同期比52.4%増加）となり、押出成形セメント製品関連合計では71億3百万円（前年同期比21.6%増加）に、耐火被覆等は6億13百万円（前年同期比15.1%増加）となりましたが、スレート関連は5億37百万円（前年同期比1.5%減少）となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は94億43百万円（前年同期比14.7%増加）となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上、製造原価・販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、営業利益は9億23百万円（前年同期比148.9%増加）、経常利益は9億70百万円（前年同期比141.4%増加）となり、四半期純利益は、投資有価証券売却益53百万円の計上もあり、6億31百万円（前年同期比169.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が4億58百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が9億3百万円、未成工事支出金が2億17百万円、商品及び製品が1億52百万円増加したこと等から、88億12百万円（前連結会計年度末と比較して7億33百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が1億31百万円増加、有形固定資産が1億7百万円増加したこと等から、148億22百万円（前連結会計年度末と比較して1億53百万円増加）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億87百万円増加し236億35百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が2億30百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億82百万円増加したこと等から、59億27百万円（前連結会計年度末と比較して5億47百万円増加）となりました。固定負債の残高は、長期借入金が前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少したこと等から、70億55百万円（前連結会計年度末と比較して5億3百万円減少）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し129億82百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度に比べ利益剰余金が5億38百万円増加、少数株主持分が1億24百万円増加したこと等から、106億52百万円（前連結会計年度末と比較して8億43百万円増加）となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ4億58百万円減少し、26億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は4億36百万円(前年同期は3億1百万円の減少)となりました。これは売上債権の増加額7億93百万円や、たな卸資産の増加額3億55百万円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益10億11百万円や減価償却費2億64百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は31百万円(前年同期は3億48百万円の減少)となりました。これは投資有価証券の売却による収入67百万円等の資金の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出1億41百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は8億82百万円(前年同期は11億3百万円の増加)となりました。これは長期借入金の返済による支出7億70百万円や、親会社による配当金の支払額92百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、金融緩和と政策による円安・株高基調に伴う企業業績の回復、個人消費の緩やかな拡大を背景に、景気の先行きは回復が見込まれるものの、円安による輸入価格の上昇・原油価格の高騰・電力料金の値上等、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・飛躍成長戦略の確実な遂行とお客様満足度向上により、更なる飛躍成長を推進してまいります。販売部門では、環境負荷低減のニーズに応えた「グリーンウォール」・「ソーラーウォール」に加え、商品価値向上のニーズに応えた「グリッドデザイン ランディール」及び、「アルカスカラーセララン」の販売に注力するとともに、全国的に深刻化している職人不足への対策として、「工場プレ加工」による、施工現場における作業の省力化及び施工品質向上への提案を行い、受注数量を伸ばしてまいります。また、ボードにつきましては、内装及び土木市場に対して、新たな用途開拓を行い、商品開発へと繋げてまいります。

生産部門では、NNPS活動による更なる生産性向上と品質の向上、受注から納入までのリードタイム短縮に努めるとともに、設備化による省人化を図り、品質・納期・コストの差別化を推進してまいります。

開発部門では、安全・安心・快適性に加え環境負荷低減及び施工省力化等顧客の要求に応える商品を実現するため、コア技術をベースとした研究開発を推進してまいります。

管理部門では、トータルコスト削減に取り組むとともに、有利子負債の圧縮を進め、財務体質を改善し、経営基盤の強化を図ってまいります。

マインケミカル事業では、地域別、作物別営業戦略を推進するとともに顧客ニーズに密着した商品の展開により、販売数量の拡大に繋げてまいります。

海外事業では、「野澤貿易(上海)有限公司」において、中国市場に適合した商談管理・営業戦略に基づき、PR活動の強化を図り、受注数量増加へ繋げてまいります。「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」において、NNPS改善活動を通じて、品質の向上・コスト削減に努めてまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高188億円、営業利益16億90百万円、経常利益16億80百万円、当期純利益10億40百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,131,079	2,672,400
受取手形及び売掛金	3,393,187	4,296,416
商品及び製品	404,730	556,881
原材料及び貯蔵品	119,449	112,053
未成工事支出金	77,161	294,793
その他	989,502	916,239
貸倒引当金	△36,674	△36,468
流動資産合計	8,078,435	8,812,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,345,602	2,285,441
機械装置及び運搬具(純額)	1,870,677	2,036,145
土地	7,284,080	7,284,080
建設仮勘定	32,063	50,649
その他(純額)	291,676	274,905
有形固定資産合計	11,824,099	11,931,223
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,855,907	1,987,290
その他	1,036,162	952,110
貸倒引当金	△60,572	△60,572
投資その他の資産合計	2,831,497	2,878,828
固定資産合計	14,669,439	14,822,906
資産合計	22,747,875	23,635,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,337,634	2,920,192
短期借入金	1,700,000	1,470,000
未払法人税等	373,080	403,215
賞与引当金	231,000	260,800
その他	738,209	872,913
流動負債合計	5,379,924	5,927,121
固定負債		
長期借入金	3,500,000	2,960,000
再評価に係る繰延税金負債	1,995,317	1,995,317
退職給付引当金	1,484,074	1,552,086
資産除去債務	13,290	13,350
その他	566,174	534,887
固定負債合計	7,558,856	7,055,642
負債合計	12,938,781	12,982,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	1,652,777	2,191,104
自己株式	△47,028	△48,001
株主資本合計	5,525,321	6,062,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302,774	391,256
土地再評価差額金	3,422,930	3,422,930
為替換算調整勘定	48,521	141,502
その他の包括利益累計額合計	3,774,226	3,955,689
少数株主持分	509,546	634,093
純資産合計	9,809,093	10,652,458
負債純資産合計	22,747,875	23,635,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,234,231	9,443,376
売上原価	5,883,919	6,489,782
売上総利益	2,350,311	2,953,594
販売費及び一般管理費	1,979,364	2,030,471
営業利益	370,946	923,122
営業外収益		
受取利息	1,494	1,474
受取配当金	23,640	24,506
為替差益	—	81,704
貸倒引当金戻入額	—	207
その他	106,056	17,361
営業外収益合計	131,191	125,254
営業外費用		
支払利息	37,138	36,211
その他	63,026	41,672
営業外費用合計	100,164	77,884
経常利益	401,973	970,492
特別利益		
投資有価証券売却益	—	53,251
特別利益合計	—	53,251
特別損失		
固定資産除却損	17,386	11,774
投資有価証券評価損	4,307	—
特別損失合計	21,694	11,774
税金等調整前四半期純利益	380,278	1,011,968
法人税、住民税及び事業税	189,506	384,947
法人税等調整額	△17,312	△42,587
法人税等合計	172,194	342,360
少数株主損益調整前四半期純利益	208,084	669,608
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△25,928	37,939
四半期純利益	234,012	631,668

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,084	669,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,199	88,482
為替換算調整勘定	20,770	179,588
その他の包括利益合計	△115,429	268,070
四半期包括利益	92,654	937,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,684	813,131
少数株主に係る四半期包括利益	△16,030	124,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	380,278	1,011,968
減価償却費	198,252	264,405
社債発行費償却	173	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,785	△205
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,779	68,012
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,100	29,800
受取利息及び受取配当金	△25,134	△25,981
支払利息	37,138	36,211
為替差損益(△は益)	12,942	△77,478
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△53,251
固定資産除却損	11,576	11,774
投資有価証券評価損益(△は益)	4,307	—
売上債権の増減額(△は増加)	△694,286	△793,069
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175,946	△355,374
仕入債務の増減額(△は減少)	60,647	577,317
その他	17,254	105,935
小計	△125,131	800,064
利息及び配当金の受取額	25,134	25,981
利息の支払額	△37,141	△36,950
保険金の受取額	60,293	—
法人税等の支払額	△224,217	△352,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	△301,061	436,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△341,788	△141,102
投資有価証券の取得による支出	△6,176	△8,327
投資有価証券の売却による収入	—	67,275
その他	△1,033	50,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,998	△31,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,600,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△1,600,000	△200,000
長期借入れによる収入	1,745,494	—
長期借入金の返済による支出	△572,000	△770,000
社債の償還による支出	△10,000	—
親会社による配当金の支払額	△46,631	△92,778
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13,296	△18,641
その他	△173	△973
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,103,392	△882,394
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,335	18,337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	449,996	△458,678
現金及び現金同等物の期首残高	2,404,968	3,131,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,854,964	2,672,400

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減
押出成形セメント製品	3,686,671 千円	4,636,983 千円	950,312 千円
スレート関連	319,916	358,288	38,372
その他	46,463	42,410	△4,052
合計	4,053,051	5,037,682	984,631

(注) 1 金額は製造価格によります。
2 上記の金額には消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、製商品については受注生産によらず、主として見込み生産を行っております。

また、その他の事業の受注はありません。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	886,586	809,958	568,432	701,371	△318,153	△108,587
スレート工事	36,496	18,460	14,040	8,600	△22,456	△9,860
耐火被覆等工事	698,104	467,918	774,059	453,390	75,954	△14,528
その他工事	284,488	262,400	489,698	459,281	205,209	196,880
合計	1,905,675	1,558,737	1,846,230	1,622,642	△59,445	63,905

(注) 上記の金額には消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	5,842,150	7,103,916	1,261,765
(内、アスロック)	(4,948,706)	(5,741,968)	(793,261)
(内、住宅用軽量外壁材)	(893,443)	(1,361,948)	(468,504)
スレート関連	546,229	537,988	△8,241
耐火被覆等	532,620	613,285	80,665
その他	1,293,572	1,166,685	△126,887
計	8,214,573	9,421,874	1,207,301

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間21,501千円であり、前年同期比1,843千円の増加となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス(株)	1,928,060 千円	23.4 %	2,561,987 千円	27.1 %	633,926 千円
伊藤忠建材(株)	866,531	10.5	973,018	10.3	106,487

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は上記のとおりです。
2 上記の金額には消費税等は含まれていません。